



国民の森林・国有林

中部森林管理局

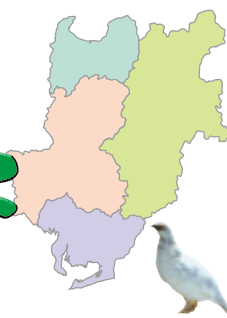
〒380-8575 長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



賀正

噴煙を上げる冬の浅間山

主な項目	○ 城土局長年頭挨拶 P2
	○ 2009年 主な出来事 P4~5
	○ 風景紀行「白馬岳」 P6



新年を迎えて 国民視点での管理経営を目指して

中部森林管理局長 城土 裕

明けましておめでとございます。皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、特筆すべきは新聞報道等でご案内のとおり、八月末の衆議院選挙の結果による政権交代であると考えます。

平成五年に宮沢内閣から細川内閣へ政権が変わって以来十数年ぶりに民主党を中心とした政権交代が行われ、結果として国会運営、行財政運営に係る国のシステムが大幅に変更されており、例えば予算編成においては、財務省の予算査定に先立って内閣府の行政刷新会議における事業仕分けが行われ、公共事業予算をはじめとする各種事業の廃止や要求内容の見直しが提示されるなど例年とは大きく異なる作業となりました。

他方、昨年九月に国連の場で鳩山首相から二〇二〇年までに一九九〇年比で温室効果ガスを二五割削減する旨のご発言があり、ドイツ等を手本とし、積極的な林内路網の整備や高性能林業機械の導入等による低コスト高効率な作業システムを前提として、地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の着実な推進等が求められています。

中部森林管理局は、長野・富山・岐阜・愛知県の四県に所在する国有林を管轄しており、「日本の屋根」といわれる日本アルプスをはじめとした、脊梁山脈を擁しています。

この地域は、信濃川、木曾三川などの源流地帯でもあり、水資源のかん養や国土自然環境の保全など、私たちの生命や暮らしに欠かすことのできない森林の多様な機能を発揮している地域でありま

す。また、木曾・東濃地方に代表される木曾ヒノキや人工林ヒノキ、更にはカラマツなどの産地として我が国有数の林業地帯ともなっております。

このような地域に所在する当局の立地条件を活かし、本年も森林・林業基本計画の理念に即して「木の交流」「水の交流」「人の交流」をキーワードとした国土の保全や水資源のかん養、地球温暖化防止のための森林吸収源対策の推進、森林での生物多様性の保全、間伐材等の有効活用などの具体的な取組を推進していくこととしていきます。

さて、私ども国有林野事業については、行政改革推進法等に基づき、一般会計化及び一部独立行政法人化について検討されてきたところですが、昨年十一月の国会における大臣発表によって、今後は全てを一般会計化する方向で早急に検

討することとされております。

まさに昭和二十二年の林政統一以来の大きな経営形態の変更となりますが、管内の国有林がなくなるわけではありません。国民共有の財産として適切に管理経営し、国民の皆様からの負託に適切に答えられるよう国民視点を持って職員一丸となって取り組む必要がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

以上、年頭にあたりまして、所感の一端を申し上げたところですが、本年が災害のない明るい職場であることを願うとともに、ご家族ともども職員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。



今年の干支は庚寅



今年の干支は「庚寅」の年です。

「庚寅」は「かのえとら」と読み、六十干支の二十七番目です。

庚は、十干の七番目「金の兄」で斧や刀などの硬い金属を象徴し、庚の字は「更」で草木の生長が行き詰まり、新たな形に変化しようとしている状態を表します。寅は、十二支の三番目で季節は旧暦の一月に当たり、動物の虎で動くを意味しており、植物が発生する状態を表しているそうです。庚と寅が相まって、従来の事象を改め新しい道筋を付ける年です。

庚寅の年といえば、古く六九〇年には「庚寅の年籍」が作られ、全国的な戸籍が編成され年齢別人口構成、家族形態などの具体的な内容が分かり、人頭課税の台帳に活用されました。

干支は六〇年で一回りし、前回の庚寅は一九五〇年（昭和二十五年）の出来事を見ると、「年のとなえ方に関する法律」施行により満年齢を用いるようになる、世界気象機関（WMO）発足、朝鮮戦争が六月に勃発、地方公務員法公布、放送法・電波法・電波監理委員会設置法の電波三法が公布、山本富士子が第一回ミス日本に選ばれる、日本シリーズでは、毎日オリオンズが優勝。今年、昭和二十五年生まれで還暦を迎える有名人は、志村けん、八代亜紀、ジュディ・オング、山本譲二、ばんばひろふみ、

館ひろし、和田アキ子、由美かおる、神田正輝、生島ヒロシ、綾小路きみまろ、鹿賀丈史：（敬称略）と大勢のおなじみの皆さん方です。

還暦の還は、「戻る」「帰る」を意味し、暦は「干支」を意味します。干支では六〇年で一巡して起算点となる年の干支に再びもどると還暦となります。自分の生まれた干支に戻ることから、「赤ちゃんに還る」という意味合いで「赤いちゃんちゃんこ」をお正月に、長生きを願って送る風習があります。

虎は、毛皮の美しい模様から前身は夜空にかがやく星と考えられており、決断力と才知があるといわれています。

平成二十二年は寅年、今年も良い年でありましょうように。



行事・会議等の予定

◎森林管理局事業担当課長会議

1月21～22日 林野庁

◎中部森林技術交流発表会

2月4～5日 長野市

◎事業担当部長会議

2月8～9日 林野庁

◎中日造林賞贈呈式

2月25日 名古屋市

シリーズ 現場最前線

御嶽山麓のより良い山づくりを目指して

「岐阜署 合同森林事務所班」

合同森林事務所班の現場は、岐阜県下呂市の北部、御嶽山の頂上から麓までの一、四四二畝の国有林、官行造林地となっており、四つの森林事務所（小黒川、濁河、榎谷、大洞）が相互に連携して業務を調整しています。

当管内には、霊峰御嶽山の岐阜県側の登山路が整備されており、また、平成二十年八月には「岐阜県の宝物」第一号に認定された「小坂の滝めぐり」のフィールドになっていることから、春から秋にかけて、県内外からの多くの自然愛好者でにぎわっています。

班員は、基幹作業職員二名と臨時作業員数名と少数ですが、除伐、枝打、収穫調査、境界巡検、林道維持修繕作業、な



作業開始前のタッチ&コール



大平展望台から見た御嶽山

どを実行しています。

冬山では雪の中、枝打ち作業に従事しており、「冬期特有の作業環境を自覚し、足元確認とスベルことを予期して災害の未然防止に努めよう」をスローガンに安全第一で作業に取り組んでいます。また当地域は、人々の心身のリフレッシュの場となっていることから、森林官の指示により、御嶽山のビュースポットとなっている「大平展望台」の修景作業や登山道の安全確保のための補修作業も行いながら、地域に開かれた国有林の利用にも努めています。現在、合同森林事務所のうち榎谷・大洞森林事務所の新築工事が行われており、本年四月からは、木の香り漂う新事務所を基点とし、今後ともチームワークを大切に一致団結して安全な作業に取り組んでいくこととしています。

二〇〇九年 主な出来事

◆1月◆

- 15 低コスト作業システム現地検討会
(南木曽支署管内)
- 21 低コスト・高性能作業システム現地検討会
(松本市)
- 29 森林計画学識者検討会
(中部局)
- 30 緑の回廊雨飾・戸隠、八ヶ岳モニタリング調査検討委員会
(中部局)

◆2月◆

- 4 中部森林技術交流発表会
(中部局)
- 13 治山・林道工事コンクール表彰式
(中部局)
- 17 根羽官行造林終了記念式典
(南信署)



根羽官行造林最後の売買契約

- 19 森林管理署長等会議
(中部局)
- 25 国有林モニターによる「モニター会議」
(岐阜署)
- 26 中日造林賞贈呈式
(名古屋市内)

◆3月◆

- 4 「大型猛禽類の生態と森林施業について講演会」
(中部局)
- 11 木曽ヒノキ検討会
(中部局)
- 12 「木曽御岳自然休養林」オフィシャルサポーター協定締結
(木曽署)
- 16 上矢作治山事業所新築
(東濃署)
- 17 森林・林業社会貢献感謝状贈呈式
(中部局)
- 20 和田森林事務所新築
(東信署)
- 25 上市森林事務所新築
(富山署)
- 30 中越公務員宿舍新築
(木曽署)



新築した上矢作治山事業所

◆4月◆

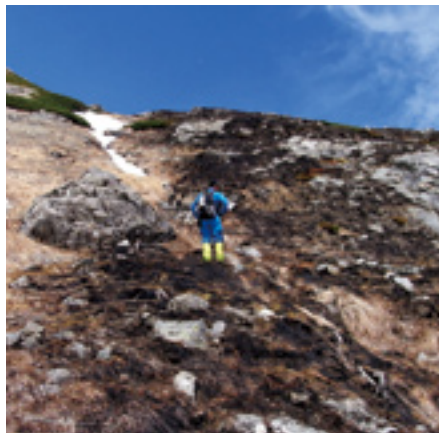
- 1 局ホームページCMS形式に移行
(中部局)
- 13 会計実地検査(17日まで)
(林野庁)
- 16 森林管理局長等会議
(林野庁)
- 24 平成二十一年度事業概要を記者発表
(中部局、名古屋事務所)
- 29 「みどりのフェスティバル09」開催
(瀬戸市)

◆5月◆

- 9 白馬岳で山火発生
(中信署)
- 9 林野庁主催「H21年度森林の市」
(東京都日比谷公園)

◆6月◆

- 13 主任安全衛生管理者等会議
(中部局)
- 16 「愛知県植樹祭」開催
(瀬戸市)
- 18 治山設計説明会
(松本市)
- 19 森林管理署長等会議
(中部局)
- 21 技術開発委員会
(中部局)
- 23 「未来世紀へつなぐ緑のバトン育樹祭」開催
(王滝村)
- 26 林業事業体育成協議会
(岐阜県)
- 29 「とやま森の祭典」開催
(上市町)
- 30 「岐阜県みどりの祭」開催
(郡上市)



白馬岳山火事現場

- 1 富山県林政協議会
(富山市)
- 1 林業事業体育成協議会
(富山県)
- 5 長野県産材需要拡大要請活動
(15 長野県)
- 13 「長野県植樹祭」開催
(長野県)
- 15 長野林政協議会
(長野市)
- 15 高山植物等保護対策協議会
(中部局)
- 25 永年勤続職員の表彰式
(長野市)

◆7月◆

- 1 全国安全週間
(中部局)
- 16 低コスト作業システム現地検討会
(南信署管内)
- 27 中信署と信州大学との「連携・協力に関する協定」調印式
(中信署)
- 28 岩手宮城内陸地震対応報告会
(中部局)
- 30 新上松土場竣工式
(木曽署)

◆8月◆

- 1 署ホームページCMS形式と入札システム導入
(北信署・南木曽署管内)
- 4 教職員森林環境教育研修会
(5 南信署管内)
- 6 中信署管内



教職員森林環境教育研修会でNHKが取材

- 5 生物多様性保全関係現地調査
(東信署管内)
- 18 低コスト作業システム現地検討会
(中信署管内)
- 26 木曽署管内

◆9月◆

- 8 流域管理調整官会議 (富山署管内)
- 12 報道機関(金曜日)の国有林視察 (南信署管内)
- 12 「木曾川・森づくりin赤沢」を開催 (木曾署管内)
- 15 平成二十年度決算概要の公表 (中部局)



低コスト作業システム現地検討会

◆10月◆

- 1 1 全国衛生週間
 - 1 木づかい推進月間
 - 5 森林管理局長等会議 (林野庁)
 - 7 木材利用推進要望活動 (岐阜県)
 - 10 「森林の絵画コンクール」表彰式 (名古屋市内)
 - 14 国産材利用推進功労者感謝状贈呈式 (上松町)
 - 15 低コスト作業システム現地検討会 (木曾署管内)
- (22 東信署管内)

◆11月◆

- 23 森林ボランティア・NPO 連絡推進会議 (松本市)
- 24 森林計画懇談会 (中信署管内)
- 28 指導普及連絡会 (中信署管内)
- 28 林道現地検討会 (東濃署管内)
- 29 長野朝日放送「みつめて 信州生テレビ2009」に戸隠森林官他出演 (北信署)

◆12月◆

- 5 治山現地検討会を開催 (東濃署管内)
 - 6 国有林野等所在市町村長有志連絡協議会 (松本市)
 - 9 造林現地検討会 (中信署管内)
 - 10 林野庁臨時監査(13日まで) (中信署管内)
 - 10 保護林モニタリング現地検討会 (中信署管内)
 - 12 森林管理署長等会議 (中部局)
 - 26 名古屋シティ・フォレスター事業打合せ (名古屋)
 - 26 低コスト作業システム先進事業地視察 (関東局)
 - 27 低コスト作業システム現地検討会 (北信署管内)
 - 30 林野庁監査(4日まで) (北信署管内)
- ◆12月◆
- 14 共済組合中部支部年次監査 (中部局)
 - 17 森林計画等検討会 (長野市)
 - 24 緑の回廊八ヶ岳モニタリング調査検討委員会 (長野市)



南木曾支署の三殿貯木場で、TBS系ドラマ「浅見光彦～最終章～」のロケが行われ国有林をPR (11月25日、12月2日放送)



テレビ信州の番組「みつめて…生テレビ」に生出演し国有林をPRした松井戸隠森林官(右から2人目) (9月29日放送)

二〇〇九年
テレビを活用した国有林PR



森林ふれあい講座、東濃署管内で「三ツ緒伐り」の説明を聞く参加者

森林ふれあい講座				名古屋シティ・フォレスター事業													
12/12	12/6	10/24	5/30	4/11	11/18	11/5	10/31	10/17	10/3	9/18	7/8	6/25	6/19	5/22	5/16	5/14	4/18
手作りリースづくり	野鳥観察	木曾ヒノキの森散策	湿原の植物観察他	観賞炭づくり体験	間伐作業	枝打作業	刈払・除伐作業	植樹作業	森林整備作業	除伐作業	下刈作業	下刈作業	遊歩道チップ敷き作業	遊歩道チップ敷き作業	自然休養林整備作業	竹の除去作業	樹木見本林づくり
(愛知所管内)	(愛知所管内)	(東濃署管内)	(愛知所管内)	(愛知所管内)	(愛知所管内)	(愛知所管内)	(愛知所管内)	(愛知所管内)	(飛騨署管内)	(木曾署管内)	(富山署管内)	(東濃署管内)	(木曾署管内)	(木曾署管内)	(愛知所管内)	(富山署管内)	(愛知所管内)

二〇〇九年に実施した
森林ふれあい推進事業等



白馬岳

〔中信署〕白馬村の西部に位置する白馬山国有林には、秀麗な白馬岳が望めます。

白馬岳の由来は、田の代掻きしろかの頃に現れる雪形が代掻き馬と呼ばれ、それが代馬から白馬へと変化したと言われています。

杓子岳、白馬鐘ヶ岳かねがけと合わせて白馬三山とも呼ばれ、多くの登山客に親しまれるとともに、白馬連山高山植物帯として国の特別天然記念物に指定され、大切に保護されています。

白馬岳近代登山の歴史の中で、松沢貞逸まことさだが大きくかかわっています。同氏は、明治三十三年十一歳にして白馬岳初登頂を果たし、三十七歳の若さでこの世を去るまで登山道開拓など、白馬岳周辺の発展に尽力し、明治四十一年白馬岳山頂に日本初の山小屋（現在の白馬山荘）を建てる等、近代登山の先駆者として大いに

貢献したことから、現在、白馬岳の開山祭を「貞逸祭」とし、同氏を偲ぶとともにその功績を称えています。

白馬岳の魅力は、北アルプス随一と言われる高山植物の多様さです。ウルップソウを始めコマクサ、ツクモグサ、イワベンケイ、シナノキンバイ等の高山植物や、シロウマリンドウ、シロウマアサツキ、シロウマタンポポ、シロウマオウギなど白馬岳を名前にもつ種類も含め三三百種を超える花々が競うように咲き誇り、多くの登山者を魅了しています。また、咲く花が時期により異なるため、何度訪れても違う姿を楽しむことができることも魅力のひとつとなっています。

登山途中で分らない花がありましたら、七月から八月の間、登山道にいる赤いシャツを着たグリーンパトロールの人に聞いてみてください。花の名前だけでなく、いろいろな話が聞けるかもしれません。

白馬岳は他にも、三大雪渓の一つ白馬大雪渓や天然記念物のライチョウ、鐘ヶ岳下の白馬鐘温泉など登山の醍醐味の全てがこの山にはあります。

是非白馬岳にお越しください。

◆アクセス

JR大糸線白馬駅から猿倉までバスで約三十分、大雪渓まで徒歩一時間三十分、頂上まで約四時間。



冬の白馬三山



グリーンパトロール隊員の活動



砂浴びをするライチョウ (雄)



稜線に咲くコマクサ